

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、引き続き米利上げ観測がレアルの重石となっていることに加え、中銀の週次サーベイにおいて経済予測が一段のマイナス成長に引き下げられたことを受け、レアル売りが優勢の展開となった。一時3.80台半ばまでドル高レアル安が進行した他、ボベスパ指数も前週末比1.5%安と軟調な動きを示した(2日間合計の下落率は3週間ぶりの大きさを記録)。昨日公表された週次サーベイによると、年末の成長率見通しは前週の3.05%減から3.10%減へ見通しが悪化。2016年末についても、1.51%減から1.90%減へ下方修正されており、ブラジル経済の先行きには引き続き厳しい見方が集まっている。また、インフレ率(IPCA)見通しも、9.91%から9.99%へ上昇。先週公表された10月IPCAは前年比9.93%を記録しており、インフレ率の10%台への到達が目前に迫っている。なお、中銀は先月のCOPOM声明文からインフレ率の物価目標収斂時期に関する記載(「16年末」)を削除しており、「2016年末までにインフレ率を目標値である4.5%に収斂させる」という当初目標を事実上断念している。

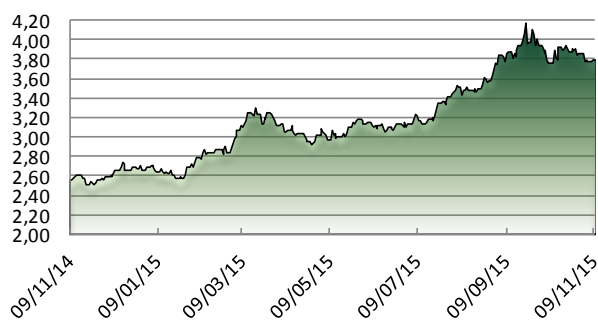
FRBによる12月利上げ観測については、直近の米経済指標の好転、イエレン議長の議会証言を踏まえると、実現可能性は高いというのが現時点でのマーケットの見方となっている。足許でレアル相場は小康状態を維持しているが、米利上げが新興国通貨に与える影響については引き続き注意を要する。

マーケットデータ

Indicator		Unit	11月6日	11月9日	前日比	10月9日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,7688	3,7993	+0,0305	3,7633	+0,0360
	対円	JPY	32,67	32,42	-0,25	31,97	+0,45
	対ユーロ	BRL	4,0508	4,0879	+0,0371	4,2723	-0,1844
円	対ドル	JPY	123,13	123,18	+0,0500	120,27	+2,9100
	対ユーロ	JPY	132,25	132,43	+0,18	136,61	-4,18
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	46.919	46.195	-724	49.338	-3.143
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	405,2	422,5	+17,3	410,8	+11,7
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	15,57	15,66	+0,09	15,65	+0,01
DI Future Jan17 (金利先物)		%	15,35	15,45	+0,10	15,56	-0,11
3 Months US Dollar Libor		%	0,341	0,341	+0,000	0,321	+0,020
CRB Index (国際商品指数)		Index	191,0	189,2	-1,8	202,7	-13,5

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

